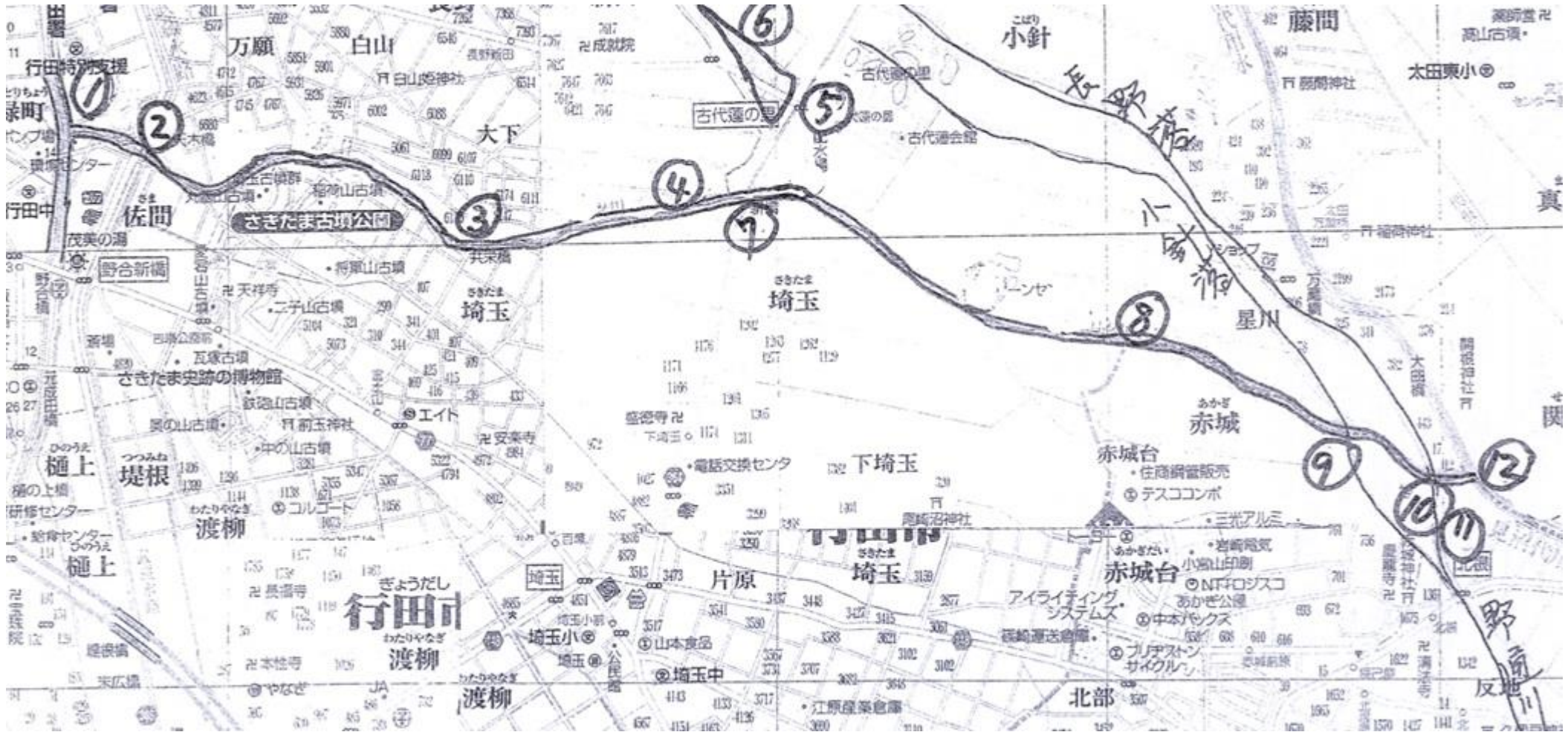


テーマ : 忍川・さきたま調整池（旧忍川）の自然環境の調査・研究

柱 A : 旧忍川の現況調査（前半） <http://oshi.html.xdomain.jp/report/default.html>



1. 調査経路 今回は、この散策地図の1から12までの橋を目印にして、各地点の状況について調査しました。



2. 旧忍川の調査地点の現況

忍川との合流点～蓮の里～見沼代用水との合流点の調査

2013年10月15日 9:00～12:00 および11月5日 9:00 から 12:00

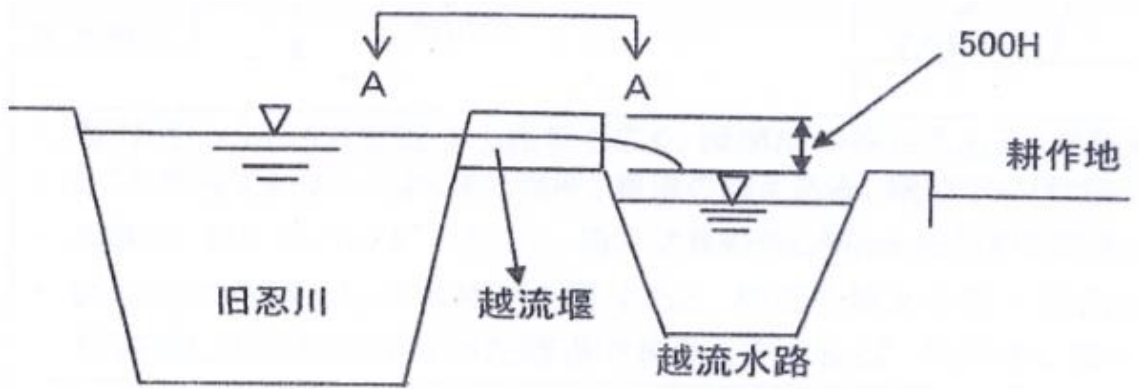
番号	項目名	内容
①	旧忍川起点	<ul style="list-style-type: none"> ・旧忍川は忍川のルートが大正末期から昭和初期にかけて埼玉県が実施した「河川改修事業」で元荒川へルートが変更されたため廃川となった。 ・忍川と旧忍川との分岐点では落差（忍川の川底の方が低い）がついており豪雨等で水位が上昇しない限り旧忍川への水の流れはない。 川底に堆積物やゴミが目立つ。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>(1) 旧忍川起点</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(2) 忍川右岸（環境センター側）より</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・管理用道路がない。 ・旧忍川と並行して武蔵水路の旧忍川放水口へ繋がっている「越流水路」がある。 ・豪雨時等で旧忍川の水位が上昇した場合、越流水路に流れる越流堰であるが現在、高水位時は忍川の佐間水門の操作により、武蔵水路に放出するために越流堰まで水位が上昇せず、「越流水路」側に流れることはないと思われ、越流堰には土砂が堆積している。従って、武蔵水路の旧忍川放水口のゲート操作は必要なくなったものと思われる。 ・しかし、この旧忍川沿いの耕作地は低地であるため、豪雨時等に排水能力を超え甚大な被害が予想される場合、旧忍川放水口のゲート操作を行ったことがあるとのことであるが、ここ数年（今回の26号台風時も）操作していないとのこと。



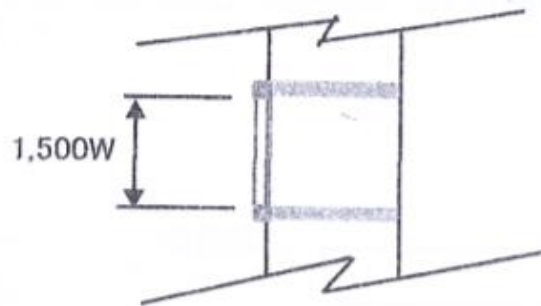
(3) 越流堰



(4) 越流水路



A-A 矢視



② 伏越

- ・ 武蔵水路を伏越で横断しているが、下流側は土砂の堆積が多い。
- ・ 武蔵水路工事で伏越内の清掃、および入口・出口の堆積土砂の清掃は？



(5) 旧忍川伏越出口（武蔵水路工事中）



(6) 人道橋より上流をみる

- ・ 左岸一帯（聖天木橋～さきたま古墳公園入口付近）は生活排水の流入が見られ水の汚れやゴミが目立つ。また、この区域は下水道計画区域内であるため、下水道の整備が望まれる。
- ・ 右岸側の丸墓山の裏には石仏（7体）が並んでいる。



(7) 人道橋下流を見る



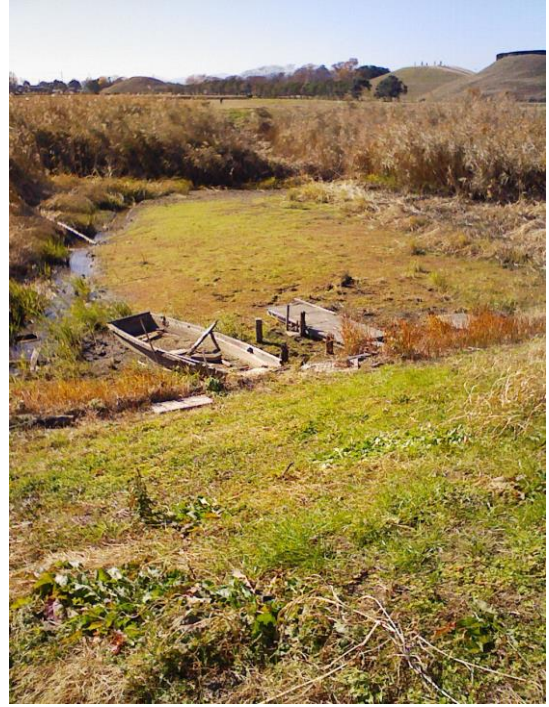
(8) 丸墓山裏に並んで立つ石仏

- ・ 歩行者専用の仮橋付近もゴミが投機されている。
- ・ ヨシ等が生い茂っているために水の汚れがあまり目立たないのかも知れない。
- ・ 左岸遊歩道に白山古墳案内表示（白山古墳まで 250m）
白山古墳は埼玉古墳の北端に位置し、直径 50m、高さ 5.7m の円墳である。

- ・左岸遊歩道には階段がある。その下にキタミソウが自生している。国内では北海道、九州および埼玉県東部で見られる珍しい植物である。



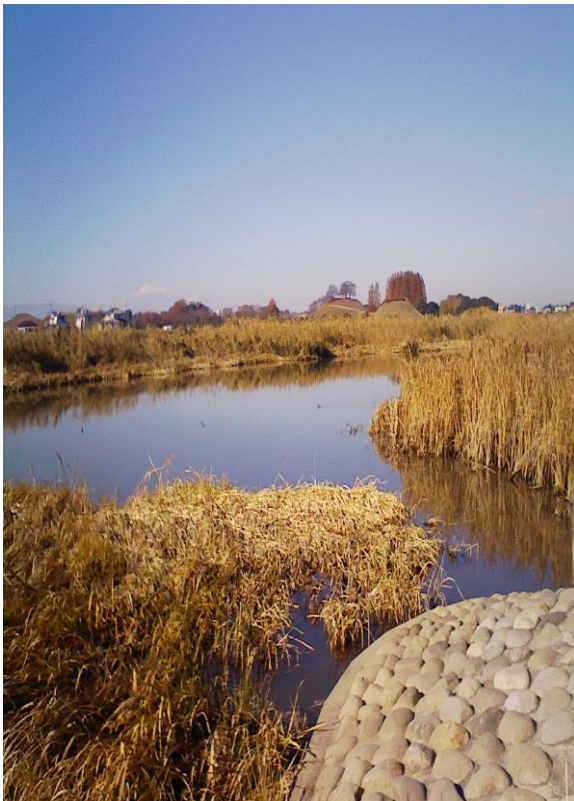
(9) 白山古墳



(10) キタミソウ自生地

③ 共栄橋

- ・この付近の川幅は広く約 80m あるが、共栄橋は右岸に位置しその径間は約 7m と狭い。共栄橋付近の川底が高くなっているため、ある程度調整池の機能もあるためか、年間を通して水が枯れることがなくヨシやマコモ等植物も多く自生している。左岸側にある「平成 21 年度水再生 100 プラン整備工事で整備されたデッキからは野鳥の観察ができる。
- ・橋の下および道路脇にゴミの投機が見られた。



(11) 共栄橋上流：野鳥が見られる



(12) 共栄橋



(13) 水辺再生プランで整備したデッキ



(14) 共栄橋道路脇にゴミ多し

- ・ 左岸遊歩道に案内板表示（成就院三重塔まで 450m）
江戸時代に建立された三重塔は県内では3基のみで、県指定建造物となっている。
- ・ 左岸遊歩道に階段があり、その下に塞神の石塔「辯才天」が祀られている。
- ・ ヨシ、マコモ等が生い茂り視界が悪いが、かなり広い範囲で水面が見える。



(15) 成就院三重塔



(16) 辯才天



(17) 辯才天より上流を見る

④ 辯天門樋

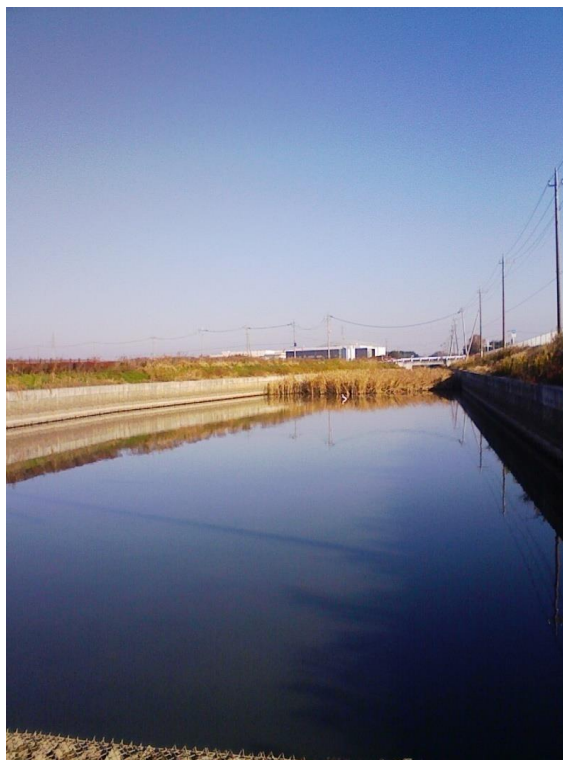
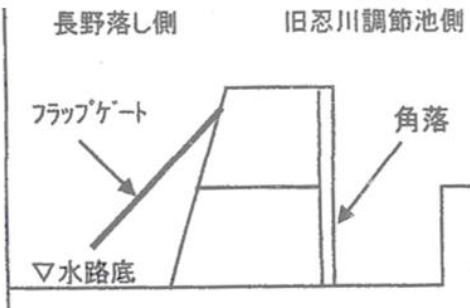
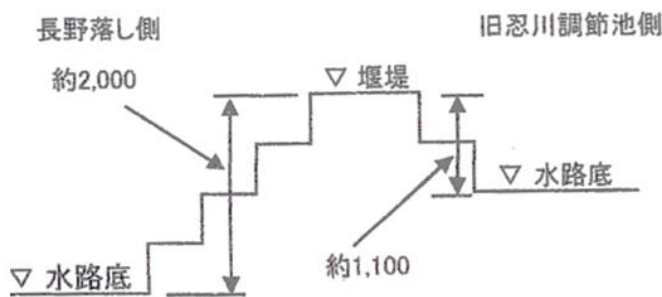
- ・ 左岸には辯天門樋がある。現在は、農業用水の取り入れ口となっているが、左右非対象型レンガ造りの水門は、右岸から見ると水面に映って美しい。
- ・ 右岸には揚水機場がある。



(18) 辯天門樋

⑤ 長野落としパイパス水路

- ・ 長野落としパイパス水路は水路幅も広く、調整池の役目もある。また、野鳥の姿も見られる。
- ・ ここに限らず釣り人の良く来る場所、車道の植え込み、橋の下にはゴミの投機が見られる。
- ・ 長野落とし側には、フラップゲートがあり、通常は長野落とし側から旧忍川調整池側へは流入しない。
- ・ 豪雨時に長野落としの水位が上昇すると、堰堤を越え旧忍川調整池で貯留される。長野落としの水位が下がった時点で角落としを外せば、長野落とし側へ排水できる。



(19) 長野落しバイパス：野鳥が見られる



(20) 堰堤：長野落しバイパス側



(21) 堰堤：旧忍川側